

ATAC会長就任のごあいさつ

財団法人 大阪科学技術センター
ATAC会長 古池 進



ATAC (Advanced Technologist Activation Center) は、財団法人 大阪科学技術センターの創立30周年を記念し、中堅・中小企業振興事業の一環として、1991年4月に設立されました。本年で15年目を迎えます。節目に当たる15年目に会長に就任いたしましたことを縁と考え、当センターおよびATACの発展の為に努力いたしたいと思っております。

ATACは名前が表す通り、考え・行動する先端的技術コンサルタント集団です。現在、メンバーは豊富な経験に裏付けされた独自のノウハウを保

持する民間企業の技術系OBや事業経営者・管理職OB等23名より構成されております。主として中堅・中小企業において、それぞれの企業が抱える多種多様な技術や経営の課題に対応し、その企業と一体となり、豊富な知識・経験・人脈を生かし、実践的・具体的にチームを組んで課題解決に当たっております。今日までに450件にも上るコンサルティングの契約を締結し、顧客企業の技術や事業成果につながる実績を上げております。

昨年、経済産業省は新産業創造戦略を策定しました。その中に“地域の低迷をどう脱するか”が課題のひとつとして取り上げられており、我々関西圏にとっても切実な問題であります。関西圏には、独創的なオンリーワン技術を持った中堅・中小企業が沢山存在しモノづくりを支えています。技術開発とモノづくりに、ATACメンバーの英知を有効にご活用戴くことにより、

全国の中堅・中小企業特に関西企業の更なる競争優位と活性化に貢献できると確信しております。

これからの技術開発とモノづくりに大切なことは二つあると思います。第一は、先人の経験や勘(暗黙知)を万人が使用できるもの(形式知)にすること。第二は、技術開発やモノづくりに携わる者が技術者としての高い倫理観を持つことでもあります。

ATACは、高い技術への貢献と企業の社会的責任を念頭に置き、コンサルティング業務、セミナー開催・講師派遣業務、書籍刊行業務、NASCA(産学連携支援制度)等を通じて、中堅・中小企業の発展に資することを目的に、更なる発展に向けて邁進していく所存であります。皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。